

平成 11 年 7 月 30 日
予 報 部

配信資料に関する技術情報（気象編）第 52 号 ～記録的短時間大雨情報文の形式の変更～

記録的短時間大雨情報を、より簡潔で分かりやすく、計算機などで利用し易くするため、発表文の形式を下記のとおり変更し、平成 11 年 8 月 1 日から実施します。また、当該情報は、かな漢字電文「キコアメ 1」とカナ電文「キコアメ」の二種類で発表しておりますが、カナ電文を同日に廃止します。

当該情報は、大雨警報発表時に、数年に一度程度しか起こらないような短時間の激しい雨を観測もしくは解析した場合に発表し、大雨による災害に対し更なる注意喚起を呼びかけるものです。

今回の変更により、当該情報の国民への即時的な周知がより一層図れますようご協力をお願いします。

記

1. 改正の特徴

- ①「見出し文」では、いつ（何時）、どこで（都道府県）、記録的短時間大雨が発生したを簡明に表示する。
- ②観測（解析）値の表示は、観測所名（発生場所）と観測値（解析値）の組み合わせとし、1 観測所の表示につき 1 行を割り当てる。
- ③ 1 行の文字数は概ね 16 文字以内とし、可能な限り短文化する。
- ④観測所名は、場所の特定がし易くするよう、観測所名の前に必要に応じ市区町村名等を付する。
- ⑤レーダ・アメダス解析雨量による場合には、雨量値の前に「約」を付して「約〇〇ミリ」と、あるいは「〇〇ミリ以上」とし、「レーダ・アメダス解析雨量による」との文言は記述しない。

2. 電文例

岡山県のアメダス観測所 1 箇所、レーダ・アメダス解析雨量 2 箇所それぞれ記録的短時間大雨が観測・解析された場合を示す。アメダス観測所「新見」は、所在する町名と同じであるため、市区町村名を省略する。

キコアメ 1 カヤマ

岡山県記録的短時間大雨情報 第 1 号

平成×年×月〇〇日 12 時 10 分 岡山地方気象台発表

12 時岡山県で記録的短時間大雨

←見出し文

新見で 102 ミリ

哲多町付近で約 100 ミリ

後月郡芳井町付近で 120 ミリ以上＝

} 変更部分